

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2015年 6月 4日

大分県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県豊後大野市朝地町朝地991

氏 名 有限会社 藤 浦
代表取締役 三浦 勉

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0974-72-1800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

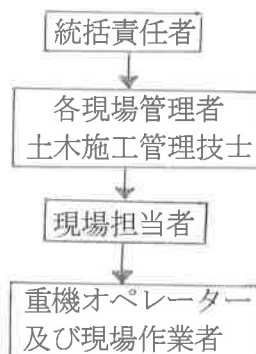
事業場の名称	有限会社 藤 浦
事業場の所在地	大分県豊後大野市朝地町朝地991番地
計 画 期 間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	1,000万円
③従業員数	6人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ 26年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組) ・コンクリート破砕片をブロック積の胴かい等に利用し、排出量の削減を図った。 ・自然石積の取り壊しにおいてコンクリートと自然石を分別し、自然石を再利用した。 ・根固めブロック除去工事において、産廃処理せず現場内で法面保護に代用した。		
	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組) ・現場内で利用できる物を分別し、排出量を抑える。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 ・道路改良によるアスファルト・コンクリートは現場内での利用は困難である。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 ・現場内で利用できる物を分別し、排出量を抑える。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

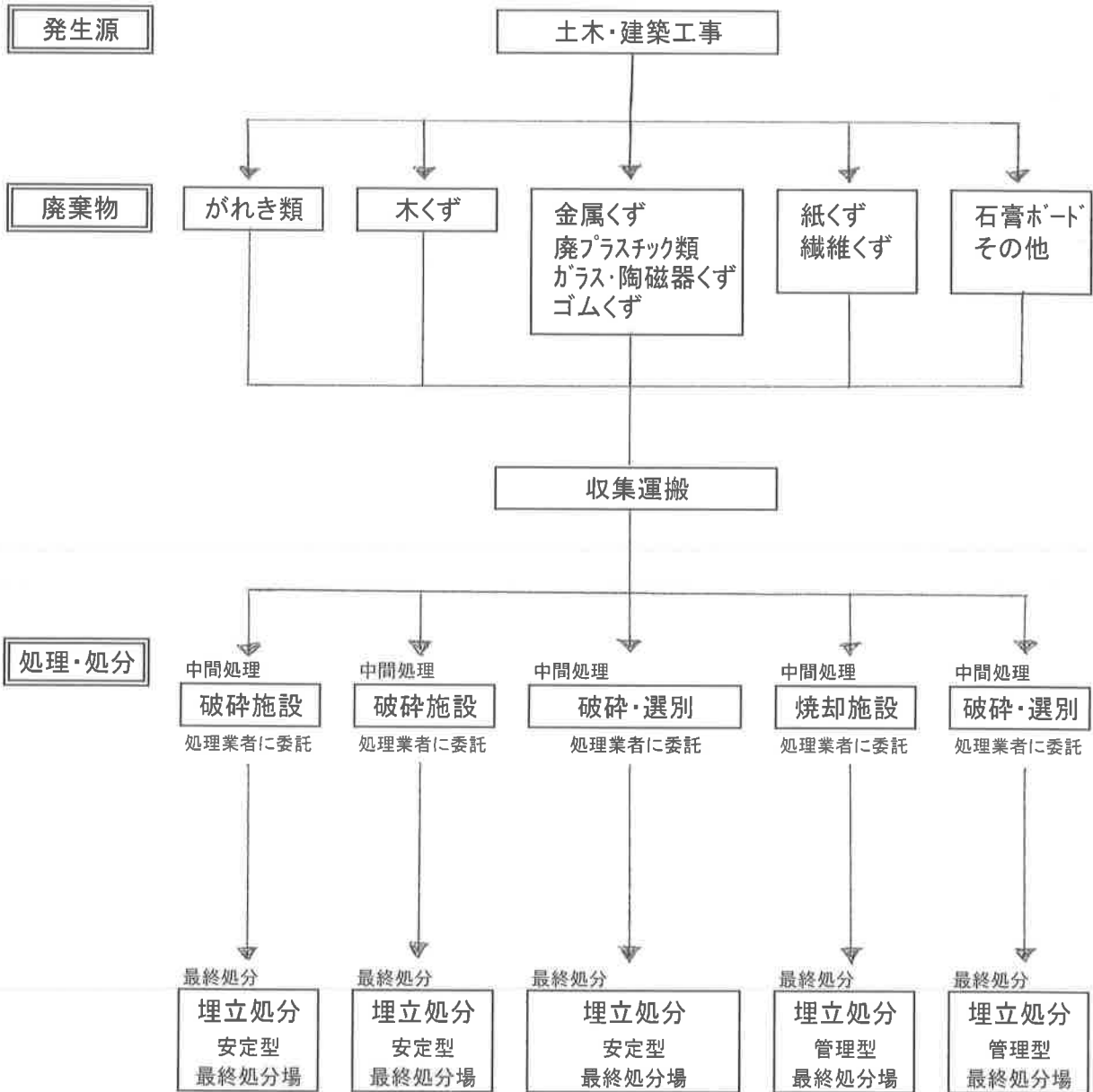
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 26年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を分別し、利用できる物は再利用し、その他を中間処理業者の処理内容を確認の上、適正な委託契約を締結した。		

②計画	【目標】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 更に、産業廃棄物を分別し、再利用して排出量を抑える様に努力 する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(26年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	1024.35t	9.51t	0t	0t	0.62t
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	900t	8.0t	0t	0t	0.50t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(26年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	1024.35t	9.51t	0t	0t	0.62t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	1024.35t	9.51t	0t	0t	0.62t
	認定熱回収業者への処理委託量					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	900.0t	8.0t	0t	0t	0.5t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	900.0t	8.0t	0t	0t	0.5t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					